

業務概要書

1 業務概要

(1) 業務名

浸水想定区域図作成業務委託（河川・交付）

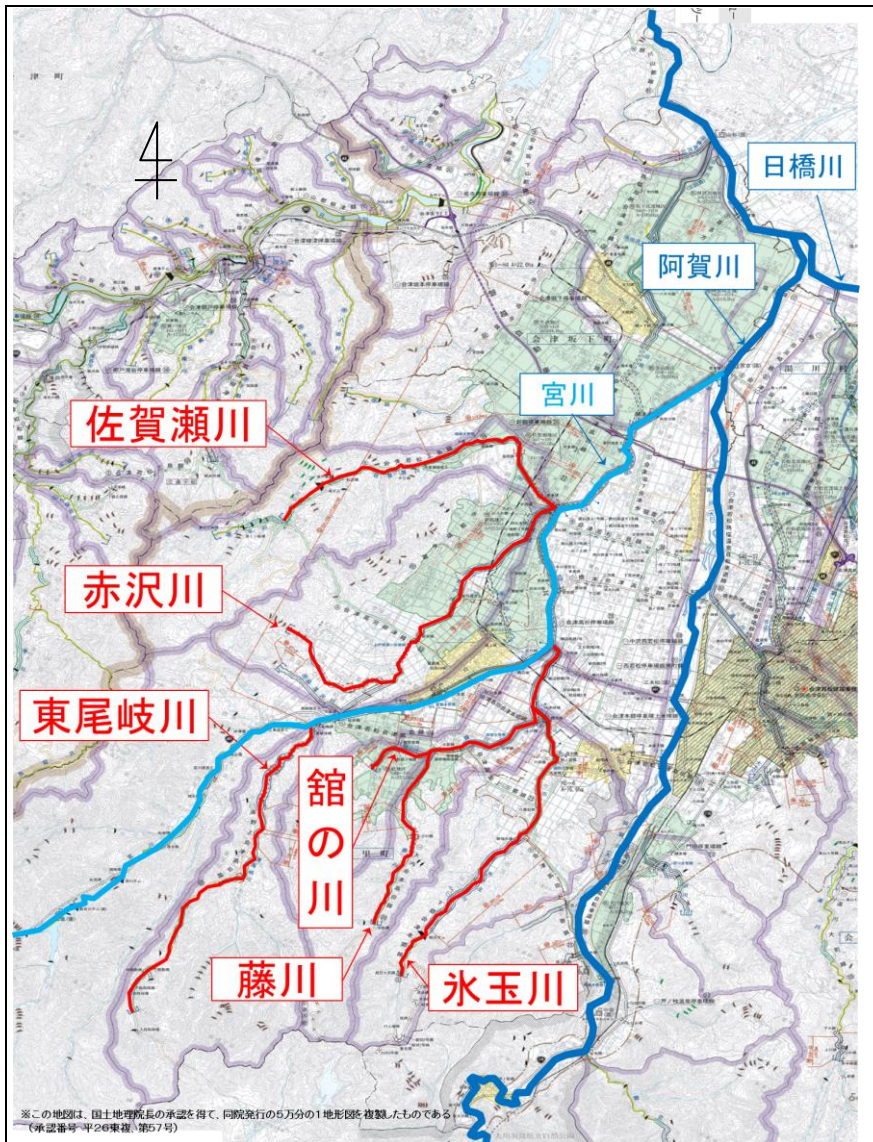
(2) 業務箇所

大沼郡会津美里町旭市川地内外 藤川筋外

(3) 業務箇所に関する管内

会津若松建設事務所管内

【位置図】



(4) 業務内容

- ① 種 別 土木設計
- ② 業務内容 浸水想定区域図作成 N=6 河川
- ③ 工期 (予定) 令和6年7月～令和7年3月

2 業務の背景・目的・課題等

(1) 業務の背景

近年、大雨や短時間強雨の発生頻度が増加し、想定を超える大規模な氾濫、水害の激甚化が想定されているため、施設計画を超える豪雨が発生した場合など「最悪の事態」を想定して、人命を守るとともに、社会経済被害の最小化を図るための対策を事前に検討し、準備しておくことが必要となっている。

こうした背景から、平成27年5月に水防法が改正され、洪水予報河川や水位周知河川において、現行の河川整備の将来目標とする「計画規模」の降雨を前提とした浸水想定区域から、「想定し得る最大規模」の降雨を前提とした洪水浸水想定区域を、新たに公表することとなり、さらに令和3年5月の改正では、浸水想定区域の指定対象とされていなかった河川のうち、周辺に住宅等の防護対象のあるものについて追加指定し、水害リスク情報の空白地帯の解消を目指すこととしている。

(2) 業務の目的

本業務は、藤川筋外5河川において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等の情報を関連市町村に提供するため、浸水解析を実施し、浸水想定区域及び家屋倒壊危険ゾーンなどの設定を行い、関連する市町村が実践的な洪水ハザードマップを作成するための基礎資料を作成・整理するものである。

(3) 業務の課題

- ①過年度に作成した、本川である阿賀川筋等との整合を図る。
- ②測量データ（200mピッチ）が不十分

3 評価テーマ

- (1) 対象流量の設定を行うにあたっての着目点
- (2) 地域特性等を踏まえた氾濫形態の考え方